



CGI-Park 名人シリーズ

更新名人 システム管理者マニュアル Ver1.2



本マニュアルの対象商品

- ✓更新名人 Ver 1.0.1
- ✓更新名人 Ver 1.0.2

目次

1. はじめに
 - 1 - 1. 本ソフトの概要と主な特徴
 - 1 - 2. CGIの動作環境
 - 1 - 3. 本ソフトのファイル構成と付属ドキュメント
2. 初期設定
 - 2 - 1. ログファイルの拡張子の設定
 - 2 - 2. Perlのパスの設定
 - 2 - 3. 複数の製品を組み合わせて利用する場合の設定
 - 2 - 4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定
 - 2 - 5. 特定の領域でのみCGIが動作するサーバでの設定
3. サーバへのセットアップ
 - 3 - 1. サーバへのアップロード
 - 3 - 2. パーMISSIONの設定
 - 3 - 3. セットアップ開始
 - 3 - 4. セットアップ完了
4. 管理画面の設定
 - 4 - 1. 試用開始
 - 4 - 2. システム管理者パスワードの設定
 - 4 - 3. 環境設定
 - 4 - 4. フォルダ位置の設定
 - 4 - 5. 管理者アカウントの設定
5. 公開準備
 - 5 - 1. デザインテンプレートの作成
 - 5 - 2. インデックスページの作成
 - 5 - 3. メール自動取り込み設定
6. その他の技術情報
 - 6 - 1. 管理画面へのログイン履歴
 - 6 - 2. 管理メニューの設定
 - 6 - 3. 本ソフトのライセンス情報について
 - 6 - 4. システムのアップデート
 - 6 - 5. システムの再構築

1. はじめに

1 - 1. 本ソフトの概要と主な特徴

ケータイで新着情報や日記の更新が行なえるCGI

写真付きの日記や新着情報などをホームページ上の管理画面や携帯電話のメールを使って登録更新するためのシステムです。
携帯電話を利用してホームページを更新できるので、パソコンが手元がない場合でも簡単に更新作業が行なえます。

主な特徴

1. 携帯電話で撮影した写真をメール送信するだけでホームページの更新が出来る
携帯電話で写真を撮影し、指定された場所にメールを送信するだけで、写真付きでホームページを更新することが出来るので、手元にパソコンがないような場面でもホームページの更新を行なうことが出来るようになります。
2. 専用管理画面から簡単操作でホームページの更新ができる
携帯電話からの更新のほかにホームページの管理画面からでも更新情報の登録・修正が出来ます。
ケータイメールで登録した情報も管理画面から修正することが出来るので、写真だけケータイを使って登録し、タイトルや文章をパソコンで書き加えるといった使い方も出来ます。
3. 登録した情報の「公開」・「非公開」はボタン一つでカンタンに切り替えできる
登録されている更新情報は一覧で表示され「公開」「非公開」「トップページに表示」の切り替えができます。
登録データの中でトップページにピックアップしたい情報は、「TOP」のチェックボックスにチェックを付けると、指定したトップページへ表示させることが出来ます。
情報の公開・非公開がボタン一つで行なえるので、情報の管理が非常に楽に出来ます。
4. 登録した更新情報は静的なHTMLファイルとしてホームページ上に作成される
登録された情報は、トップページへのピックアップと、一覧ページがHTMLファイルとして作成されます。
公開されるページはすべてHTMLファイルとして書き出されるのでSSIを利用できないサーバーでも利用できます。
また、HTMLで書き出されることで検索エンジン対策(SEO)になったり、静的なページのためサーバへの負荷も軽減されます。
5. システムで生成されるHTMLページのデザインは自由に作成できる
表示デザインはすべてHTMLテンプレート方式をとっていますので、設置するホームページに合わせて自由にデザインすることが出来ます。

1. はじめに

1 - 2 . CGIの動作環境

本CGIは下記の条件を満たしているWEBサーバにおいて動作するように設計されています。

ただし、下記の条件を満たしている場合でも必ず動作するわけではありませんので、本ソフトを購入する前に必ずWEBサーバでの動作確認を行なってください。

【動作環境】

- ✓ サーバのOSがUNIX系のOSであること
- ✓ Perl 5.00503 以上がインストールされていること
- ✓ Sendmailが利用できること
- ✓ 本ソフト専用のメールアカウントが用意できること(任意)
専用のメールアカウントが用意できない場合は、携帯メールからの更新機能を利用できません。
- ✓ Linuxのcrontabコマンドが利用できること(任意)
crontabコマンドが利用できない場合は、更新メールの自動取り込み機能が利用できません。(手動でのメール取り込みになります)

1. はじめに

1 - 3. 本ソフトのファイル構成と付属ドキュメント

✓ 本ソフトは以下のファイルで構成されています。

フォルダ	ファイル	説明
kousin1_0_1		解凍後に出来上がるフォルダ。後ろの数字はバージョンを表していません。(1_0_0 Ver 1.0.0)
kousin		本ソフトのフォルダ
cgi		各種CGIプログラムの格納フォルダ
conf.pl		システム基本情報の定義ファイル
folder.pl		フォルダ情報の定義ファイル
setup.cgi		システムセットアップ用プログラム
image		各種イメージファイル、スタイルシートを格納
*.gif, *.jpg		管理画面で利用している各種イメージファイル
font.css		フォント設定を記述したスタイルシート
style.css		テーブルやセルのデザインを記述したスタイルシート
window.js		管理画面で用いる各種JavaScript
item		コンテンツファイル格納フォルダ
photo		アップロード画像格納フォルダ
sample_index.html		サンプルのインデックスページ
style.css		サンプルページ用スタイルシート
template.htm		デザインテンプレートファイル
log		ログファイル格納フォルダ
mail		メールログ格納フォルダ
conf.log		環境設定定義ファイル
index.htm		ダミーHTMLファイル
meijin.log		システム基本情報定義ファイル
menu.log		管理メニュー定義ファイル
system.log		システム構成定義ファイル
ドキュメント		本ソフトの付属ドキュメントを格納
ソフトウェア使用許可契約書.txt		ソフトウェア使用許可契約書(必ずお読みください)
システム管理者マニュアル.pdf		システム管理者用マニュアル

2 - 1. ログファイルの拡張子の設定

ログファイルの拡張子の設定について

システムのセットアップを行なう前に、ログファイルの拡張子の設定を行なう必要があります。デフォルトの拡張子は「.log」となっています。

ログファイルの保存フォルダをWEB公開領域(ブラウザからアクセスすることが出来るフォルダ)に置く場合は拡張子を必ず「.cgi」等の実行形式の拡張子に変更してください。「.log」のままにしておくと、ブラウザから直接ログファイルにアクセスされた際、ログファイルの中身が表示されてしまい、大切な個人情報等が漏洩してしまう可能性があります。

✓ ログファイルの拡張子を変更する

「kousin¥cgi¥conf.pl」というファイルをテキストエディタで開いてください。

```
13行 $log_ext = log ;
```

と記述された箇所があります。これの log の部分を変更したい拡張子に書き換えてください。

ただし、[html][db][mail]を使用することは出来ません。

実行形式の拡張子にしたい場合は [cgi] にすることをおすすめします。

[cgi] にすると、たとえブラウザから直接そのログファイルにアクセスして来た場合でも、「Internal Server Error」となり、ファイルを開くことは出来ません。

2 - 2. Perlのパスの設定

Perlのパスについて

WEBサーバ上のどこにPerl処理系があるかを示すもので、設置するサーバの環境に合わせてPerlの実行ファイルに記述する必要があります。
不明な場合は、サーバにTelnetでアクセスし、

```
% which perl
```

と入力してみてください。画面にPerlのパスが表示されるはずですが、
通常Perlのパスは「/usr/bin/perl」または「/usr/local/bin/perl」のどちらかになると思います。
本ソフトではデフォルトで「/usr/bin/perl」としています。お使いのサーバと異なる場合は下記を参考にして必ず書き換えてください。

✓ Perlのパスを書き換える

「kousin¥cgi¥setup.cgi」というファイルをテキストエディタで開きます。1行目に

```
#!/usr/bin/perl
```

と記述されています。これを設置するサーバの環境に合わせて書き換えてください。

通常は以下のいずれかになると思います。

```
#!/usr/local/bin/perl  
#!/usr/bin/perl  
#!/bin/perl
```


2. 初期設定

2 - 3. 複数の製品を組み合わせる場合の設定

✓ 複数の商品を組み合わせる

当社の製品を複数ご利用いただく場合、商品ごとに別々にログインしたり、それぞれに管理者アカウントを作成しては作業効率が悪くなります。

そこで、当社製品を複数まとめて利用する場合、一つのWEB管理画面としてまとめて利用することが出来るようになっていきます。

✓ 設定方法

すべての商品で共有する情報は、管理者アカウント情報とログイン履歴情報、ログインクッキーの保存名です。

この3つを同一の設定にすることで、管理画面を一つにまとめることが出来るのです。

まず、管理者アカウント情報とログイン履歴情報の保存先を統一させます。

そこで、この2つのファイルを保存するための共通のフォルダを作成してください。例では下記の場所にフォルダを作成したと仮定します。

/web/cgi-bin/kousin/cgi/admin.cgi	管理画面CGIの位置
/web/cgi-bin/kousin/log	共有ログファイルの既定値
/cgi-data/common	新しく作成した共有フォルダ

「kousin¥cgi¥folder.pl」をテキストエディタで開いてください。

```
26行   ### ログファイル共有フォルダ
27行   $CoLogDir = "";
```

という箇所があると思います。ここで先ほど作成した共通のログファイル保存フォルダの位置を指定します。

```
26行   ### ログファイル共有フォルダ
27行   $CoLogDir = "../../../cgi-data/common";
```

以上で管理者アカウント情報とログイン履歴情報の共有化作業が完了しました。

続いて、ログインクッキーの名前を統一させます。デフォルトの状態では、すでに統一されているので特に修正する必要はありませんが、状況に応じて修正したい場合は、下記の要領で行ってください。

「kousin¥cgi¥conf.pl」をテキストエディタで開きます。

```
22行   $cookie_name = meijin ;
```

という箇所がありますので、「meijin」という部分を変更したいクッキー名に書き換えてください。変更した名前はすべての商品にも反映させる必要があります。

以上で、共有化の設定が完了です。

2 - 4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定

- ✓ 本ソフトをSSL領域で利用する場合は以下の設定を行なう必要があります。この設定を行なわないと試用期間を開始したりライセンスの登録が正しく行なわれない可能性があります。

- ✓ **設定方法**

「kousin¥cgi¥conf.pl」をテキストエディタで開いてください。(下図参照)
ここで、37行目の「\$admin_cgi_path = ;」にhttps:/// ~ から始まる
「kousin¥cgi¥admin.cgi」までのパスを指定します。

例) \$admin_cgi_path = https://www.cgi-park.com/cgi-bin/cgi/admin.cgi ;

```
# admin.cgiまでのフルパス
#試用期間の開始やライセンスの登録がうまくいかない場合に設定を行ないます。
#主にSSL領域に本CGIを設置した場合に設定が必要になります。
#設定を行う場合は、http://またはhttps://から始まるadmin.cgiまでのパスを指定してください。
#例) $admin_cgi_path = 'https://www.cgi-park.com/cgi-bin/cgi/admin.cgi';

$admin_cgi_path = ";
```

2. 初期設定

2 - 5. 特定の領域でのみCGIが動作するサーバでの設定

- ✓ CGIなどの実行ファイルを置くディレクトリと、HTMLや画像ファイルなどを置くディレクトリが分かれているサーバに本ソフトを設置する場合、管理画面で利用する画像や外部スタイルシートを読み込むことができず、正常に管理画面を表示することができなくなります。そのため、画像ファイルやCSSファイルが格納されているフォルダを、読み込み可能な領域に移動する必要があります。

✓ 設定方法

「kousin¥cgi¥folder.pl」をテキストエディタで開くと「イメージファイル格納フォルダ」の設定箇所があります。

```
### イメージファイル格納フォルダ
$imageDir = "../image";
```

ここで、「../image」の箇所を移動先のパスに書き換えてください。相対パスで記述する場合は、admin.cgiから見た位置になります。「\$imageDir」を書き換えたら、実際にその位置にimageフォルダを移動させてください。

次項「3 - 3. セットアップ開始」で行うセットアップの開始画面で図1のように表示されていれば「イメージファイル格納フォルダ」の位置が正しく設定されていることとなります。

図2のようになっている場合は、「イメージファイル格納フォルダ」の位置が正しくないためスタイルシートが正しく適用されていないことを意味します。再度設定を確認してください。

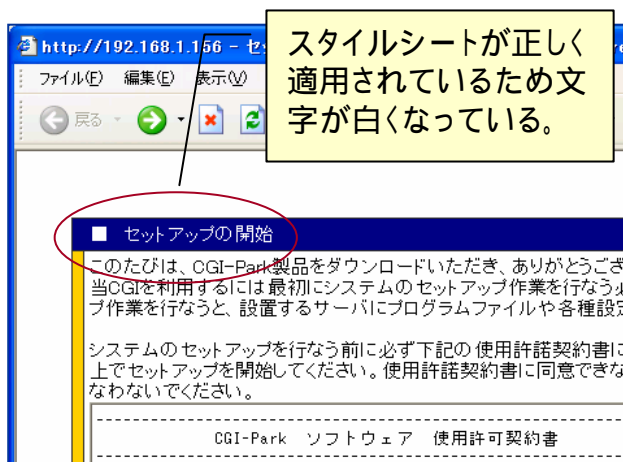


図1: スタイルシートが適用されている状態

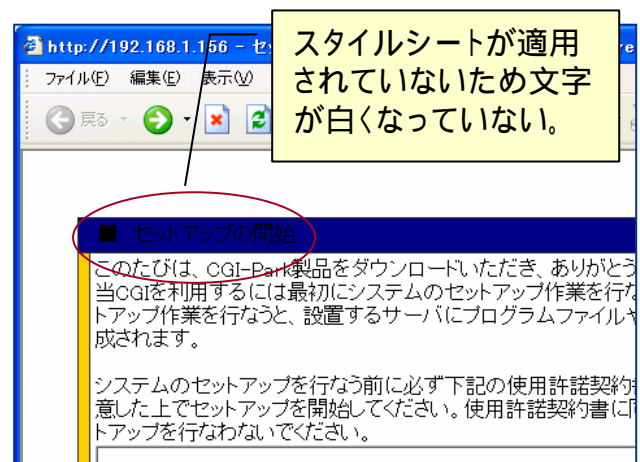


図2: スタイルシートが適用されていない状態

3. サーバへのセットアップ

3 - 1. サーバへのアップロード

システムの初期設定が完了したら、いよいよセットアップ作業を開始します。まず、「kousin」フォルダ以降をすべてFTPでサーバにアップロードします。（「ドキュメント」フォルダはアップロードする必要はありません。）ちなみに、「kousin」というフォルダ名は、好きな名前に変更することが出来ます。必要に応じて変更してください。

例では、下記のようにcgi-binフォルダ以降にアップロードすると仮定します。

web	WEB公開フォルダ
cgi-bin	CGIファイル格納フォルダ
kousin	本ソフトのアップロード先
cgi	
image	
item	
log	

3. サーバへのセットアップ

3 - 2. パーミッションの設定

本ソフトをサーバにアップロードしたら、お使いのサーバに合わせてパーミッションを変更してください。CGIの動作権限がowner権限かother権限かでパーミッションの設定方法が異なる場合があります。

フォルダ	ファイル	Owner権限	Other権限
cgi-bin			
kousin		変更不要	707
cgi		755	705
	conf.pl	変更不要	606
	folder.pl	変更不要	606
	setup.cgi	755	705
image		変更不要	707
	*.gif, *.jpg	変更不要	変更不要
	font.css	変更不要	変更不要
	style.css	変更不要	変更不要
	window.js	変更不要	変更不要
item		変更不要	707
	photo	変更不要	707
	sample_index.html	変更不要	606
	style.css	変更不要	変更不要
	template.htm	変更不要	変更不要
log		変更不要	707
	mail	変更不要	707
	conf.log	変更不要	606
	index.htm	変更不要	変更不要
	meijin.log	変更不要	606
	menu.log	変更不要	606
	system.log	変更不要	606

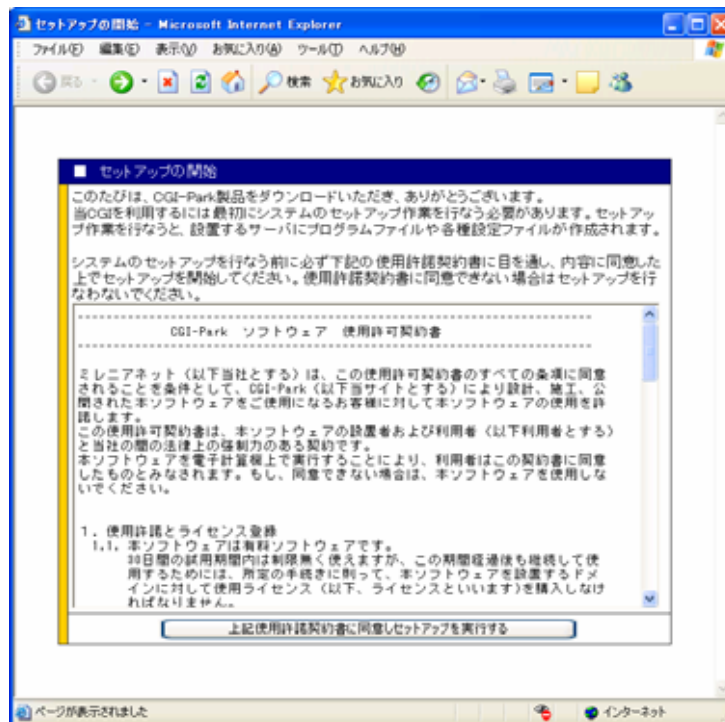
3. サーバへのセットアップ

3 - 3. セットアップ開始

- ✓ **セットアップ開始画面へアクセス**
サーバへファイルをすべてアップロードしたら、セットアップ開始ページ「cgi/setup.cgi」にアクセスします。
たとえば、設置するサイトのURLが「www.cgi-sample.com」で、サーバへのアップロード先が「/cgi-bin/kousin/」とすると、セットアップの開始画面は

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/kousin/cgi/setup.cgi>

になります。このページをブラウザでアクセスすると、下記の画面が現れます。下記の画面が現れず「Internal Server Error」等になる場合は、CGIの実行時にエラーが発生しています。前項「2 - 2. Perlのパスの設定」や「3 - 2. パーミッションの設定」が正しく行われているか再度ご確認ください。



セットアップ開始画面

- ✓ **セットアップ開始**
セットアップ開始画面では、本ソフトの「ソフトウェア 使用許可契約書」が表示されています。
必ず、契約書の内容に目を通し、同意した上でセットアップを開始してください。契約書内容に同意できない場合は、決してセットアップを行わないでください。

【セットアップエラー】

セットアップ開始ボタンをクリックした後、エラーメッセージが表示された場合は、何らかの原因によりセットアップが正常に行なわれなかった可能性があります。
その場合、本マニュアルを参考にし、再度正しくアップロードされているかご確認ください。

3. サーバへのセットアップ

3 - 4. セットアップ完了

セットアップが完了すると、システムに必要なプログラムファイルや設定ファイルが作成されます。

マークが付いている箇所がセットアップ後に作成されたファイルやフォルダとなります。

フォルダ	ファイル	説明
kousin		本ソフトのフォルダ
cgi		各種CGIプログラムの格納フォルダ
	admin.cgi	管理画面メインプログラム
	conf.pl	システム基本情報の定義ファイル
	folder.pl	フォルダ情報の定義ファイル
	pop3.cgi	メール取り込み用CGIプログラム
	data	データファイル格納フォルダ
	html	システムHTMLファイル格納フォルダ
	image	各種イメージファイル、スタイルシートを格納
	item	コンテンツファイル格納フォルダ
	lib	CGIライブラリ格納フォルダ
	log	ログファイル格納フォルダ
	index.cgi	管理画面トップページ

セットアップが完了すると、セットアップ用CGIプログラムがなくなり、代わりに管理画面用メインプログラム等が新に作成されます。

セットアップの開始画面が

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/kousin/cgi/setup.cgi>

の場合、**管理画面のトップ**は

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/kousin/index.cgi>

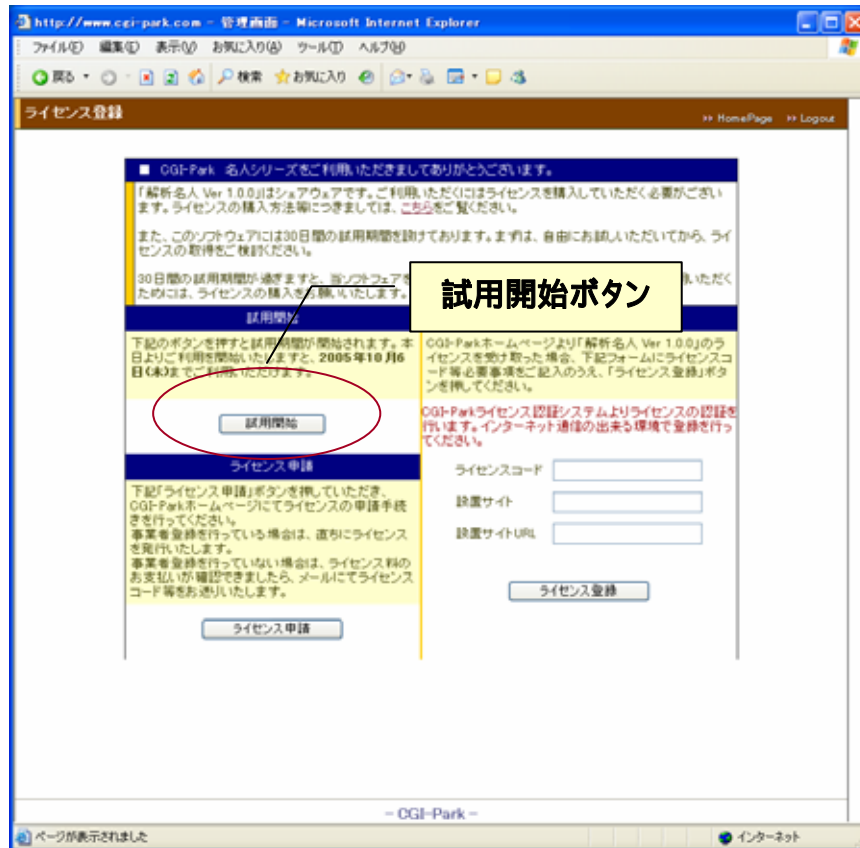
となります。今後、本ソフトの管理画面にアクセスする際は、上記URLにアクセスしてください。

また、このページをお気に入りに登録しておくことをおすすめします。

4. 管理画面の設定

4 - 1. 試用開始

- ✓ セットアップが無事完了すると下記の画面が現れます。



本ソフトは30日間の試用期間が設けられていますので、ライセンスの購入を行なう前に試用してみたい場合は、「試用開始」ボタンをクリックしてください。30日間の試用期間が与えられ、自由に操作できるようになります。

「試用開始」ボタンを押すと「リクエストされた URL は、このサーバ上には見つかりません。」という画面になって試用期間を開始できない場合は、前項「2 - 4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定」の設定を行う必要があります。本ソフトを実行する環境がSSL領域ではなくてもお使いのサーバの仕様上この設定が必要な場合があります。

4. 管理画面の設定

4 - 2. システム管理者パスワードの設定

✓ システム管理者のパスワードを設定する

管理画面に最初にアクセスすると、下記のような管理者アカウントの作成画面が現れます。

本ソフトでは管理者権限を「システム管理者」と「ホームページ管理者」の2つの権限の管理者アカウントを作成することができます。

まず最初にすべての管理権限が与えられるシステム管理者のアカウントを作成します。

システム管理者アカウントの作成画面

ユーザー名

半角英数字で入力してください。ユーザー名は、一度登録すると変更することは出来ませんので、ご注意ください。

パスワード

半角英数字で入力してください。入力されたパスワードは暗号化されて保存されるため、パスワードを紛失してしまっても確認することが出来ません。

システム管理者のパスワードを紛失して、管理画面にアクセスできなくなると、パスワードの再発行を行なえなくなりますので、十分にご注意ください。

(HP管理者のパスワードは、システム管理者が再発行することが出来ます)

E-mail

管理者のメールアドレスの登録は、必須項目となっています。必ず入力してください。管理者メールアドレスはシステムに異常が見つかった際の緊急連絡用に利用する場合があります。

4. 管理画面の設定

4 - 3. 環境設定 (1/5)

システム管理者の登録が完了すると「環境設定」画面に切り替わります。環境設定では、管理画面の動作設定やログ解析の方法等の設定が行なわれます。

環境設定画面

【システム基本情報】

- **このシステムの名称**
この管理画面の名称を入力してください。ここで設定された名称は管理画面の左上に表示されます。
- **ホームページアドレス**
本ソフトを設置したホームページのURLを入力してください。管理画面へ不正にアクセスされた場合、ここで設定されたアドレスにジャンプされます。
- **外部アクセス**
「外部アクセスを遮断する」に設定した場合、正規のログインページ以外からのアクセスをブロックし管理画面への不正なアクセスを遮断することが出来ます。例えば、左側の管理メニューのリンク先をコピーし、リンク先のURLに含まれる管理画面に渡す引数を故意に変更してアクセスしてきた場合でも、その引数をシステムに渡す前にブロックすることが出来ます。

マッキントッシュの一部のブラウザからアクセスした際、正しくアクセスしているのに、稀に外部アクセスとみなされて遮断してしまう場合があります。その場合、「許可する」にチェックを付け、この機能をオフにしてください。

4 - 3 . 環境設定 (2/5)

【初期設定】

- **管理画面上でのログ表示件数**
登録されているログの管理画面上での表示件数を設定してください。
- **初期アクセスメニュー**
管理画面にアクセスした際に最初に表示する画面を設定してください。
設定方法は「メニュー管理」で登録されているリンク先を記入してください。
初期設定では「日別アクセス」が最初の画面になるように設定されています。
- **Sendmailのパス**
サーバのSendmailまでのパスを指定してください。通常は「/usr/sbin/sendmail」か「/usr/lib/sendmail」が一般的です。不明な場合は、サーバ管理者にご確認ください。
- **メール送信エラーの通知先アドレス**
システムから送信したメールが宛先不明で送信できなかった際の、配信エラーメールを受信するアドレスを設定してください。
(この設定はSendmailの-fオプションとして設定されます。もし、fオプションを許可していないサーバの場合は何も設定しないでください。)
- **親フレーム名**
管理画面を呼び出しているフレームのフレーム名を指定してください。デフォルトは「admin」です。
管理画面メインプログラム「admin.cgi」を呼び出す際のフレームページ(index.html)のフレーム名になります。
- **左フレーム幅**
管理画面の左メニューのフレーム幅を設定してください。デフォルトでは150ピクセルになっています。
- **右フレーム幅**
管理画面の右メニューのフレーム幅を設定してください。デフォルトでは600ピクセルになっています。
- **管理画面のクッキー保存期間(日)**
管理画面のクッキーの保存期間を設定してください。単位は日です。
デフォルトでは10日間となっています。この日数より間を空けてアクセスすると再度ログインを求められます。

4. 管理画面の設定

4 - 3. 環境設定 (3/5)

【表示設定】

- **1ページでのログ表示件数**
公開ページと管理画面の一覧表示で、1ページに表示するログの件数を設定してください。
何も入力しないと登録されているログすべてが1ページに表示されます。
- **ログ表示順序**
登録したログの表示順序を設定してください。
日付順を指定するとログの登録時に入力した日付の新しい順に並びます。
- **代替画像**
アップロード画像がない場合の代替画像のファイル名を指定してください。
指定した画像はアップロード画像格納フォルダ「/item/photo」の中にいれてください。
- **書き出し用HTMLファイルのファイル名**
HTML書き出し時に生成されるHTMLファイルのファイル名を指定してください。
たとえば「index.html」と設定すると、作成されるファイルは、index.html、index2.html、index3.html・・・となります。

表示設定 [変更]	
1ページでのログ表示件数 20	公開ページと管理画面の一覧表示で、1ページに表示するログの件数を設定してください。 何も入力しないと登録されているログすべてが1ページに表示されます。
ログ表示順序 <input checked="" type="radio"/> 登録順 <input type="radio"/> 日付順	登録したログの表示順序を設定してください。
代替画像 spacer.gif	アップロード画像がない場合の代替画像のファイル名を指定してください。 指定した画像は\$PhotoDirに置いてください。
書き出し用HTMLファイルのファイル名 index.html	HTML書き出し時に生成されるHTMLファイルのファイル名を指定してください。 例) index.html
入力フォーム設定 [変更]	
URL入力フォーム <input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない	入力フォームで「URL」の入力を利用する場合は、「利用する」にチェックを付けてください。
画像アップロードフォーム <input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない	入力フォームで画像アップロードフォームを利用する場合は「利用する」にチェックを付けてください。
画像登録時の注意事項 登録する画像は、そのままの大きさで表示されます。あまり大きい画像を登録するとデザインが崩れてしまう可能性があります。	画像アップロード時の注意点を記入してください。作成したテンプレートが決められた画像サイズのみサポートしている場合は、その旨をご記入ください。
インデックス設定 [変更]	
インデックス表示用の設定を行いません。 インデックス表示とは、最新の更新情報やピックアップしたい情報をトップページなどに取り出して表示することです。 インデックス表示部分は既存のHTMLファイルに埋め込み形式で書き出されます。	
インデックス表示用ページのパス admin.cgiからみたインデックス表示用ページまでのパスを設定してください。省略するとインデックス書き出しを行いません。 例) インデックス表示用ページが{/web/index.html}で、admin.cgiが{/web/kousin/cgi/admin.cgi}にある場合、{/./index.html}と指定します。	
インデックス表示件数 <input checked="" type="radio"/> 1件のみ表示 <input type="radio"/> 複数表示	インデックス表示するログの件数を指定してください。 実際にインデックス表示するログは「登録データの表示メニュー」で選択します。
インデックス表示用区切文字 <!-- kousin -->	インデックス表示を行なう際に、表示する箇所を特定するための区切文字を設定してください。 区切文字はHTMLのコメントタグを使い、表示部分のHTMLの先頭に必ず埋め込んでください。 1ページに必ず2箇所は埋め込まないとインデックスの書き出しが正常に行われません。

【入力フォーム設定】

更新情報を入力する際の入力フォームの設定を行いません。利用する状況に合わせて設定してください。

- **URL入力フォーム**
入力フォームで「URL」の入力を利用する場合は、「利用する」にチェックを付けてください。
「利用する」に設定した場合でも携帯メールからこの項目に入力することは出来ません。
- **画像アップロードフォーム**
入力フォームで画像アップロードフォームを利用する場合は「利用する」にチェックを付けてください。
- **画像登録時の注意事項**
画像アップロード時の注意点を記入してください。画像入力フォームの下に注意事項として表示されます。
作成したテンプレートが決められた画像サイズのみサポートしている場合は、その旨をご記入ください。
例) 登録する画像は200×150ピクセルに加工してから登録してください。

4. 管理画面の設定

4 - 3 . 環境設定 (4/5)

【インデックス設定】

インデックス表示とは、最新の更新情報やピックアップしたい情報をトップページなどに取り出して表示することをいいます。
インデックス表示部分は既存のHTMLファイルに埋め込む形で書き出されます。

➤ インデックス表示用ページのパス

admin.cgiからみたインデックス表示用ページまでのパスを設定してください。省略するとインデックス書き出しを行ないません。

たとえば、下記のような場合は

/cgi-bin/kousin/cgi/admin.cgi

admin.cgiの位置

/index.html

インデックス表示用ページ

インデックス表示用ページのパスは以下ようになります。

../../../index.html

➤ インデックス表示件数

インデックス表示するログの件数を指定してください。実際にインデックス表示するログは、登録データの一覧ページで選択します。

➤ インデックス表示用区切文字

インデックス表示を行なう際に、表示する箇所を特定するための区切り文字を設定してください。

区切り文字はHTMLのコメントタグを使い、表示部分のHTMLの先頭と終わりに埋め込んでください。

1ページに必ず2箇所はいつていないとインデックスの書き出しが正常に行なわれません。

【メールアカウント設定】

携帯電話等のメールを利用した更新機能を利用する場合は、以下の設定を行なってください。

更新受け取り用のメールは2種類作れるため、1つのユーザーアカウントで、2つ以上のメールを受信できる必要があります。1ユーザー1アドレスしか作成できない場合は、どちらかのみ設定してください。

また、設定するメールアカウントは、専用のアカウントを用意してください。このアカウントで受信したメールはすべて取り込んでしまい、不要なメールはすべて削除されてしまいます。

■ メールアカウント設定 [変更]	
携帯電話等のメールを利用した更新機能を利用する場合は、以下の設定を行なってください。更新受け取り用のメールは2種類作れるため、1つのユーザーアカウントで、2つ以上のメールを受信できる必要があります。1ユーザー1アドレスしか作成できない場合は、どちらかのみ設定してください。	
POPサーバー名	受信メールサーバ(POP3)のサーバー名を設定してください。
ユーザーアカウント	POP3サーバーへの接続用ユーザー名を設定してください。
パスワード	POP3サーバーへの接続用パスワードを設定してください。
APOP認証	POP3サーバーへの接続の際APOP認証を行う場合は「行なう」にチェックを付けてください。
直接更新用メールアドレス	送信したメールを直接ホームページに反映させる場合のメールのあて先を指定してください。複数のメールアドレスを指定する場合はコンマ[,]で区切って入力してください。
ログ番更新用メールアドレス	送信したメールがホームページには反映されず一度管理画面にストックさせる場合のメールのあて先を指定してください。複数のメールアドレスを指定する場合はコンマ[,]で区切って入力してください。
登録を許可する送信元アドレス	メール更新で、登録を許可する送信元のメールアドレス(FROM)を設定してください。複数のメールアドレスを指定する場合は、コンマ[,]で区切って入力してください。何も入力しないと、すべてのメールアドレスで登録可能になります。
詳細受信メールログの保存	受信したメールをログとして保存する場合は「保存する」にチェックを付けてください。保存するログファイルは1通のメールにつき1ファイル作成されます。ファイル名は受信したメールの日付で作られます。
上記内容でよろしければ、「設定変更」ボタンを押してください。	
<input type="button" value="設定変更"/>	

4. 管理画面の設定

4 - 3 . 環境設定 (5/5)

- **POPサーバー名**
受信メールサーバ(POP3)のサーバー名を設定してください。
- **ユーザーアカウント**
POP3サーバーへの接続用ユーザー名を設定してください。
- **パスワード**
POP3サーバーへの接続用パスワードを設定してください。
- **APOP認証**
POP3サーバーへの接続の際APOP認証を行う場合は「行なう」にチェックを付けてください。
- **直接更新用メールアドレス**
送信したメールを直接ホームページに反映させる場合のメールのあて先を指定してください。
直接更新用メールアドレスにメールを送信すると、メールを受信した瞬間にホームページが更新されます。設定したメールアドレスは第三者に知られないように十分に注意してください。
複数のメールアドレスを指定する場合はコンマ[,]で区切って入力してください。
- **ログ蓄積用メールアドレス**
送信したメールがホームページには反映されず一度管理画面にストックさせる場合のメールのあて先を指定してください。
複数のメールアドレスを指定する場合はコンマ[,]で区切って入力してください。
- **登録を許可する送信元アドレス**
メール更新で、登録を許可する送信元のメールアドレス(FROM)を設定してください。複数のメールアドレスを指定する場合は、コンマ[,]で区切って入力してください。
何も入力しないと、すべてのメールアドレスで登録可能になります。
直接行進用のメールアドレスを設定している場合は、送信元のメールアドレスを限定しておくことをおすすめします。
- **詳細受信メールログの保存**
受信したメールをログとして保存する場合は「保存する」にチェックを付けてください。
保存するログファイルは1通のメールにつき1ファイル作成されます。ファイル名は受信したメールの日付で作られます。

4. 管理画面の設定

4 - 4. フォルダ位置の設定 (1/2)

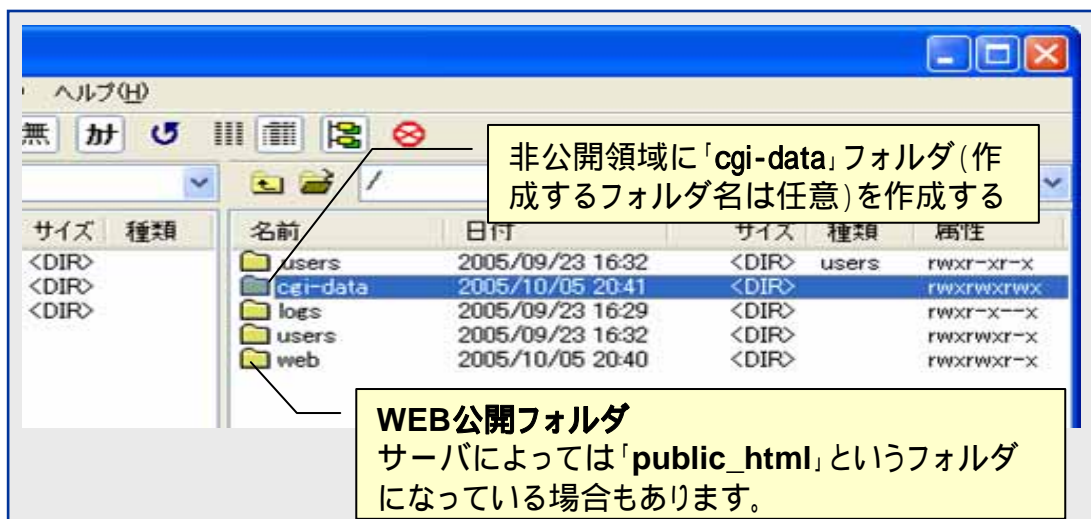
本ソフトをセットアップした最初状態では、ログファイルの格納フォルダなどがブラウザから直接アクセスすることの出来る「WEB公開領域」におかれています。そのままにしておくと悪意のある第三者から不正にアクセスされ、ログファイルの中身を盗み見られてしまう可能性が出てきます。

そのような危険な状態を回避するためにも、セットアップ後は必ずフォルダの移動を行なう必要があります。

下記の例を参考にログファイル格納フォルダを適切な位置に移動してください。

1. 非公開フォルダの作成

まず、「web」フォルダをWEB公開フォルダと仮定するとそれと同じ階層に「cgi-data」フォルダ(フォルダ名は任意)をFTPソフト等を使って作成します。



2. 管理画面での操作

管理画面の左側のメニューより「フォルダ設定」をクリックする。



本ソフトでは下記のフォルダが設定可能フォルダとなっています。

【ログファイル格納フォルダ】

システムが生成したログファイルや設定ファイルが格納されています。

【データファイル格納フォルダ】

システムで使用する各種設定ファイル等が格納されています。

【コンテンツファイル格納フォルダ】

登録した更新情報を公開するHTMLファイルが格納されます。

4 - 4. フォルダ位置の設定 (2/2)

本ソフトを設置したフォルダが「/web/cgi-bin/kousin/」フォルダとすると、管理画面のメイン CGI ファイルは「/web/cgi-bin/kousin/cgi/admin.cgi」にあり、ここから見た、新しいフォルダまでの相対パスを指定して、「変更」ボタンを押すことで、フォルダとその中に格納されているファイルが移動します。

先ほど「/cgi-data」フォルダを作成したので、そこに「ログファイル格納フォルダ」を移動する場合、移動先のフォルダ名を「kousin_log」とすると、

移動前の位置 [/web/cgi-data/kousin/log]

移動後の位置 [/cgi-dta/kousin_log/]

という移動を行なうので、新しいフォルダまでのパスは

[../..../../cgi-data/kousin_log]

となります。

変更処理が正常に完了すると、変更前のログファイル格納フォルダ「/web/cgi-bin/kousin/log/」がなくなり、その中に入っていたフォルダやファイルはすべて「/cgi-data/kousin_log/」の中に移動します。

(注意事項)

・移動先のフォルダはあらかじめ作成しておいた場合 (kousin_log フォルダをあらかじめ作っておいた場合) は、フォルダの中には何も入れないでください。万が一ファイル等が入っていた場合は、エラーとなり移動処理が行なえません。

・上記例の場合、[kousin_log] フォルダは作成しておく必要はありませんが、[cgi-data] フォルダは事前に作成しておく必要があります。移動先のフォルダがない場合は移動処理が行なえません。

・現在のフォルダの中に新しいフォルダを作成して、そこに移動することは出来ません。

例) 移動前 /web/cgi-bin/kousin/log/

移動後 /web/cgi-bin/kousin/log/new_log/

✓ **コンテンツページ格納フォルダの位置を決定する**

登録した更新情報を表示するページの URL を設定します。たとえば「cgi-sample.com」というサイトで新着情報として利用する場合は、新着情報の一覧ページは

<http://www.cgi-sample.com/news/index.html>

にしたいとすると、コンテンツページ格納フォルダの設定は

../..../news

となります。

コンテンツページ格納フォルダは一般に公開されるフォルダとなるため設置場所には十分ご注意ください。

4. 管理画面の設定

4 - 5. 管理者アカウントの設定 (1/2)

✓ 管理者アカウントについて

本ソフトでは、管理画面にアクセスする管理者を「システム管理者」と「ホームページ管理者」の二つの管理権限に分けて、管理しています。

➤ システム管理者

本ソフトを設置した方や、管理画面全般を管理する方で、本ソフトを実際に利用することが出来るように、設置するホームページに合わせた調整を行ったり、製品のバージョンアップを行ったりと、管理画面に対してすべてのアクセス権限を持っている管理者です。

➤ ホームページ管理者

本ソフトを設置した後に実際に管理画面を利用する方で、管理者アカウントの作成や、フォルダの移動といった設定作業を行わず、通常の業務のみを行なう管理者となります。

ホームページ管理者には一部の管理メニューのみが表示され、設定関係のメニューは表示されなくなり、すっきりとした管理画面になります。



システム管理者の管理画面



ホームページ管理者の管理画面

4. 管理画面の設定

システム管理者マニュアル Ver1.2

4 - 5. 管理者アカウントの設定 (2/2)

✓ 管理者アカウントを作成する

管理者アカウントの新規作成を行なうことができるのは、「システム管理者」のみとなります。もし、「ホームページ管理者」でログインしている場合は、システム管理者としてログインしなおしてください。

まず、管理メニューより「アカウント設定」をクリックしてください。

管理画面に登録されている管理者アカウントの一覧が表示されます。

新たに管理者アカウントを追加する場合は、「アカウントの新規作成」ボタンをクリックしてください。

管理者アカウントの登録フォームが現れるので、必要事項を記入して、「登録」ボタンを押してください。

これで、新しい管理者アカウントの登録が完了です。

The image shows two screenshots of the system's account management interface. The left screenshot displays a list of existing accounts with a 'New Account Creation' button circled in red. A yellow callout box points to this button with the text '新規作成ボタンをクリック'. Below the list are two explanatory text boxes for 'HP 管理者' and 'システム管理者'. The right screenshot shows the registration form with fields for 'ユーザー名' (admin), 'パスワード', 'パスワード(再入力)', 'E-Mail' (info@cgi-park.com), and 'アクセス権限' (System Administrator selected). A yellow callout box points to the form with the text 'ユーザー名とパスワード等の必要事項記入し、登録ボタンを押す'. A '登録' button is visible at the bottom of the form.

ユーザー名	メールアドレス	権限	処理
admin	info@cgi-park.com	システム管理者	変更
user	info@cgi-park.com	HP 管理者	変更・削除

ユーザー名

半角英数字で入力してください。ユーザー名は、一度登録すると変更することは出来ませんので、ご注意ください。

パスワード

半角英数字で入力してください。入力されたパスワードは暗号化されて保存されるため、パスワードを紛失してしまっても確認することが出来ません。

E-mail

管理者のメールアドレスの登録は、必須項目となっています。必ず入力してください。管理者メールアドレスはシステムに異常が見つかった際の緊急連絡用に利用する場合があります。

アクセス権限

「システム管理者」または、「HP管理者」のどちらの権限でアカウントを作成するか選択してください。

5. 公開準備

5 - 1. デザインテンプレートの作成 (1/3)

登録した更新情報をホームページに公開するためのデザインテンプレートの作成を行います。

デザインテンプレートは一つのHTMLファイルから構成されています。

まず、サンプルのテンプレートを用意していますので、これをベースに作成することをおすすめします。

サンプルのデザインテンプレートは「jyusin/item/template.htm」にあります。(デザインテンプレートはコンテンツページ格納フォルダの中にはいっていますので、このフォルダを移動した場合は、デザインテンプレートも同時に移動しています。)

これを、普段利用しているHP制作ソフトで開き、設置するホームページのデザインに合わせて編集してください。

テンプレートの構成は下記のようになっていて、～のデザインを切り分けるために下記の区切り線のHRタグが埋め込まれています。

```
<HR width="99%">
```

区切り線は大文字・小文字やスペースの有無なども含めまったく同じようにしないと正しく動作し無くなります。また、この区切り線は切り分けの用途以外では使用しないでください。

The screenshot shows the Dreamweaver interface with a template file open. The main content area contains two identical placeholder boxes, each with a title field (#title#), a body field (#body#), and a data field (#D-data#). The top of the page has a header area with a green background and the text 'ようこそ サンプルホームページへ!'. The left sidebar contains a navigation menu with items like 'トップページ', '商品一覧', 'お知らせ', etc.

一覧ページ用外枠
一覧ページを作成する際のヘッダー、フッター、ナビゲーション部分のデザインになります。

一覧ページ用表示枠
一覧ページで入力した更新情報を表示させるためのデザインになります。

インデックス表示用
インデックスページで入力した更新情報を表示させるためのデザインになります。

テンプレートを切り分けるための区切り線
～のテンプレートを区別するための区切り線(HRタグ)です。

5. 公開準備

5 - 1. デザインテンプレートの作成 (2/3)

- ✓ 一覧ページ用外枠
一覧ページを作成する際のヘッダー、フッター、ナビゲーション部分のデザインになり、この外枠に の表示枠のリストが入る形でページが構成されます。
タイトルも一覧ページのタイトルとしてそのまま利用されます。

外枠に埋め込むことが出来る変換キーは「#page_link#」のみとなります。
この変換キーは、たとえば一覧で表示する件数を20件とした場合、公開されているログ件数が20件を超えた場合、「次の20件を表示」といったようなリンクを表示するための変換キーとなります。
ログ件数が20件以内の場合は、この変換キーは削除されます。

・一覧での表示件数を20件とし、公開ログが50件あるとした場合の表示例

全50件 【No.1 ~ No.20】 / 1 [2](#) [3](#) / [次の20件](#)

- ✓ 一覧ページ用表示枠
入力した更新情報を表示させるための一覧ページ用の表示枠になります。
利用できる変換キーは下記の変換キーリストに載っているものになります。
- ✓ インデックス表示用
入力した更新情報をインデックスページで表示させるためのデザインになります。利用できる変換キーは下記の変換キーリストに載っているものになります。ただし、本文に限り表示方法が若干変わり、もし本文中に連続した改行が2つ以上続いた場合は、そこで切り取られそれ以降は省略されます。
これは、インデックスページをトップページ等に設定した場合に、本文が長くなりすぎたとき、ページのデザインを崩してしまうのを防ぐためのものです。

項目名	変換キー	説明
整理番号	#code#	ログの整理番号が入ります。例)c00001
登録日	#D-time#	ログを登録した日付が入ります。例)2005年12月1日(木)
日付	#D-date#	入力した日付が入ります。携帯メールから登録した場合は、登録日時が入ります。例)2005年12月1日(木)
タイトル	#title#	ログのタイトルが入ります。携帯メールから登録した場合は、メールの件名が入ります。
本文	#body#	本文が入ります。
URL	#url#	URL入力フォームで入力された値が入ります。携帯メールからではこの項目は利用できません。
画像のファイル名	#photo#	登録した画像のファイル名が入ります。画像が登録されていない場合は、環境設定で設定した代替画像のファイル名が入ります。

変換キーリスト

5 - 1. デザインテンプレートの作成 (3/3)

✓ テンプレート作成上の注意点

テンプレート作成する上で以下の点にご注意ください。

- **登録した画像のパス**

登録した画像は、デフォルトではコンテンツページ格納フォルダ(itemフォルダ)の中の「photo」というフォルダの中に入ります。

一覧ページ用の表示枠の場合のイメージタグは以下のようになります。

```
<IMG src="./photo/#photo#">
```

インデックス表示用のデザインの場合は、itemフォルダからのパスではなく、環境設定で指定したインデックスページから見たパスになりますので、パスの指定方法にはご注意ください。

また、デザイン上に含まれる画像やリンクについてもインデックスページから見たパスで指定しないとリンクエラーとなります。リンク切れのエラーを防止する上でも相対パスではなく絶対パスで記述することをおすすめします。

- **一覧の表示について**

一覧のリスト表示は、のHTMLを繰り返して行く形で表示されます。そのため、下に繰り返していくことは出来ませんが、横に繋げて伸ばしていくことはHTMLタグの構造上できません。

5. 公開準備

5 - 2. インデックスページの作成

インデックス表示とは、最新の更新情報やピックアップしたい情報をトップページなどに取り出して表示することをいいます。

インデックス表示部分は既存のHTMLファイルに埋め込む形で書き出されます。書き出し先のファイルの設定などは「環境設定」メニューの「インデックス設定」で行ないますので、あらかじめ設定しておいてください。

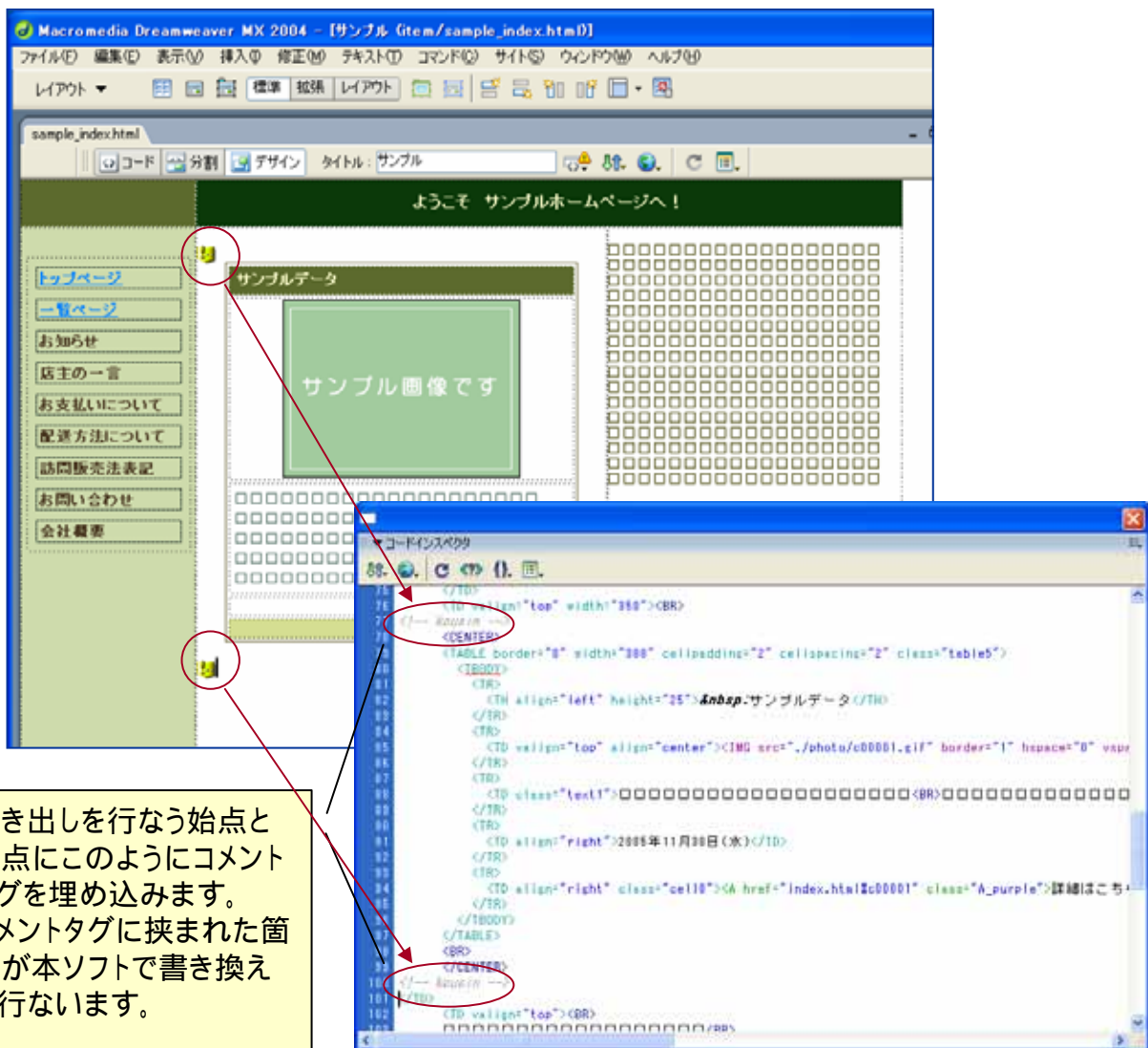
本ソフトではサンプルのインデックスページとして、

kousin/item/sample_index.html

を用意していますので、設定方法が不明な場合はこちらを参考にしてください。

「インデックス表示用区切文字」が「<!-- kousin -->」とすると、下記の図を参考に、更新情報を埋め込みたい箇所のタグの始点と終点に、区切り文字を入れます。

区切り文字は必ずページ内に2箇所はいるようにしてください。それ以外の場合だと正しくインデックス表示が行なえません。また、インデックス表示を行なうページはシステムで書き換えを行なうので、書き換えが可能なパーミッションに変更しておいてください。



書き出しを行なう始点と終点にこのようにコメントタグを埋め込みます。コメントタグに挟まれた箇所が本ソフトで書き換えを行ないます。

サンプルインデックスページのHTMLソース

5 - 3 . メール の 自動 取り 込み 設定

携帯電話で送信したメールを管理画面上に取り込む方法として、管理画面上から手動で取り込む方法と、crontabコマンドを利用して自動的に取り込む方法があります。

管理画面上からメールを取り込む場合は、管理メニューの「メール取り込み」をクリックすると管理画面にメールが取り込まれます。

自動的に取り込めるように設定したい場合はLinuxのcrontabコマンドを利用します。crontabコマンドを利用することで、一定間隔でメールの取り込みを行ってくれるので、携帯のメールで更新情報を送信した場合でも、自動的にメールが取り込まれて、携帯電話だけでホームページの更新が行なえるようになります。

✓ crontabコマンドとは

crontabコマンドとはプログラムを指定した時間に定期的に行うためのLinuxコマンドで、設定はサーバーのユーザーごとに用意されたcrontabという設定ファイルに記述します。

✓ クローンを設定する

1. クローンを設定したいユーザーでサーバにTelnet等でアクセスします。
2. 設置した環境に合わせてcrontab設定を記述します
たとえば設置した環境が以下のような場合で、1分ごとにメールの受信確認を行おうとする場合メール受信用プログラムは「cgi/pop3.cgi」の位置にあるので、サーバからのパスが

/home/web/cgi-bin/kousin/cgi/pop3.cgiの位置にあるとすると、crontabの記述は

```
$ crontab * * * * * /home/web/cgi-bin/kousin/cgi/pop3.cgi
```

となります。ちなみに1時間に1回の受信確認の場合は以下ようになります。

```
$ crontab 0 * * * * /home/web/cgi-bin/kousin/cgi/pop3.cgi
```

3. 登録されているcrontabを確認する
設定したクローンは以下のコマンドで確認できます。

```
$ crontab -l
```

4. 登録されているcrontabを削除する
設定したクローンは以下のコマンドで削除出来ます。

```
$ crontab -r
```

crontabコマンドはお使いのサーバによっては利用できない場合があります。まずはお使いのサーバがTelnetによるアクセスを許可しているか、そして、crontabコマンドが利用可能か、サーバ管理者にご確認ください。

crontabコマンドを設定したことによるトラブルは、本ソフトの作者は一切責任を負うことは出来ません。自己の責任において設定してください。また、crontabコマンドの使い方や設定方法に関しては、本ソフトの標準サポートには含まれておりませんので、設定が不安な場合は、有料の代行設定サポートをご利用ください。

6. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.2

6 - 1. 管理画面へのログイン履歴

✓ 管理画面へのアクセス履歴を確認する

本ソフトでは、管理画面へのアクセス履歴をすべて保存しています。記録する項目は、「アクセス履歴」「ログイン履歴」「ログアウト履歴」で、すべての項目に対して、「日時」「ログインユーザー名」「アクセス元ホスト情報」などが記録されます。

➤ アクセス履歴

管理画面へ一度ログインするとデフォルトでは、10日間クッキーが保存され、ログインを行なわなくても、管理画面にアクセスできるようになります。

そのようにクッキーを利用してログインした管理者の履歴を、前回のアクセス日時から6時間以上経過した場合、新たなアクセスとして記録されます。

➤ ログイン履歴

管理画面にユーザー名とパスワードを使ってログインした場合、ログイン履歴として記録されます。

ログイン履歴は、どのユーザーがログインしたか、また、ログインは成功したか失敗したかが記録されます。

たとえば、登録されていないユーザー名で何度もログインを行なって失敗している形跡があると、悪意のある第三者が不正にログインを行なおうとしている痕跡がもしもありません。

➤ ログアウト履歴

管理画面からログアウトを行なった、ユーザーと日時、ホスト名が記録されます。

日 時	ユーザー名	ステータス	ホスト名
2006-09-21 14:31:20	user	アクセス	192.168.1.150
2006-09-20 13:51:11	user	アクセス	254.211.0.dummy.host.com
2006-09-19 20:28:15	user	アクセス	192.168.1.150
2006-09-19 14:19:50	user	アクセス	254.211.0.dummy.host.com
2006-09-19 21:40:40	user	アクセス	254.211.0.dummy.host.com
2006-09-17 16:12:44	user	アクセス	254.211.0.dummy.host.com
2006-09-16 21:47:26	user	アクセス	192.168.1.150
2006-09-16 21:47:24	user	アクセス	192.168.1.150
2006-09-16 21:47:23	user	アクセス	192.168.1.150
2006-04-28 02:02:10	admin	アクセス	254.211.0.dummy.host.com
2006-02-18 11:52:49	admin	アクセス	254.211.0.dummy.host.com
2006-02-11 22:46:59	admin	アクセス	192.168.192.e-radd.or.jp
2006-02-05 21:08:13	admin	アクセス	192.168.192.e-radd.or.jp
2006-02-15 12:59:48	admin	アクセス	192.254.211.dummy.host.com
2006-01-19 14:52:56	admin	アクセス	192.254.211.dummy.host.com
2006-01-19 14:52:44	admin	アクセス	192.254.211.dummy.host.com

ログイン履歴照会画面

6-2. 管理メニューの設定

✓ 管理画面のメニューアクセス権限を設定する

管理画面の左側メニューのアクセス権限設定が行なえます。
システム管理者向けのメニューなのか、ホームページ管理者向けのメニューなのかを切り替えます。
通常は特に変更する必要はありませんが、システム管理者向けのメニューをホームページ管理者でもアクセスできるようにしたり、逆にホームページ管理者向けのメニューをシステム管理者専用のメニューに変更したりする際に、ここで設定を行ないます。

管理メニューのアクセス権限を変更する場合は、チェックボックスのチェックを変更して、「アクセス権限の変更」ボタンをクリックしてください。
メニューをシステム管理者権限にして、ホームページ管理者にはアクセスできないようにするには、アクセス権限のチェックボックスにチェックを付けてください。

メニュー	リンク先	アクセス権限
作業メニュー		<input type="checkbox"/> システム管理者
登録データの表示	admin.cgi/html/login	<input type="checkbox"/> システム管理者
新規登録	admin.cgi/html/login?action=new	<input type="checkbox"/> システム管理者
メール取り込み	admin.cgi/html/pop3	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
基本設定		<input type="checkbox"/> システム管理者
アカウント設定	admin.cgi/html/account	<input type="checkbox"/> システム管理者
環境設定	admin.cgi/html/conf	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
管理メニュー		<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
フォルダ設定	admin.cgi/html/folder	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
ログイン履歴	admin.cgi/html/login?action=check	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
メニュー管理	admin.cgi/html/menu?action=setup	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
システム情報	admin.cgi/html/admin?action=show_license	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者

メニュー設定画面

6. その他の技術情報

6 - 3. 本ソフトのライセンス情報について

管理メニューの「システム情報」を選択すると、本ソフトに登録しているライセンス情報や商品のバージョン情報が確認できます。

また、CGI-Parkの商品データベースにアクセスし、最新のアップデートファイルが公開されていないか、確認します。もし、最新のアップデートファイルが公開されていれば、アップデート情報の欄に「最新のアップデートファイルが公開されています」といったメッセージが表示され、アップデートファイルが公開されているページのリンクが表示されます。

The screenshot shows the 'システム情報' (System Information) page. It features a navigation bar at the top, a main content area with several sections, and a footer. Callouts provide additional context:

- A callout points to the 'アップデート情報' (Update Information) section, stating: "最新のアップデートファイルが公開されていればここにメッセージが表示されます。" (If the latest update file is published, a message will be displayed here).
- Another callout points to the 'バージョン情報' (Version Information) table, stating: "本ソフトのバージョン情報や、登録したライセンス情報が表示されます。" (The version information of the software and the registered license information are displayed).

アップデート情報

現在は最新の状態です。

■ バージョン情報	更新名人 Ver 1.0.0
■ ライセンスコード	L10112204-0000-0001
■ 設置サイト	CGI-Parkサンプル
■ 設置サイトURL	http://sample.cgi-park.com
■ テストサーバー	
■ 登録日時	2005年11月10日(木)

メンテナンス

■ アップデート	システムのアップデートを行ないます。	>> GO
■ システム再構築	システムファイルを再構築します。	>> GO
■ 作業履歴	システムのアップデートや再構築の作業履歴が確認できます。	>> GO

システム情報

6 - 4. システムのアップデート (1/2)

✓ アップデートについて

CGI-Parkのホームページより最新版のアップデートファイルを手に入れたら、管理メニューの「システム情報」より、アップデート作業を行なうことができます。アップデートファイルは、必ず現在利用している製品のバージョンに対応したものを入手してください。

アップデートファイルが複数公開されている場合は、一番古いものから順に当てていってください。順番を間違えると正しくアップデートが行なわれません。

✓ アップデートファイルの種類

アップデートファイルには2種類あり、一つはプログラムファイルや設定ファイルを新しいものにおきかえるというもので、もう一つは実行ファイルが含まれており、アップデートを実行するとプログラムが起動し、システム内の情報を書き換えるタイプのもので、アップデートファイル内に「exe.pl」が含まれている場合は、後者の実行ファイル入りのアップデートファイルとなります。

✓ 注意事項

・本ソフトは、基本的には改造不可としていますが、もし、何らかの改造を加えた場合は、アップデートを行なうことで、改造を施したファイルが最新のファイルに上書きされ、元に戻ってしまう可能性があります。

独自に改造を行なっている場合は、アップデートは行わないでください。

・アップデート処理は、設置しているサーバの環境により正しく行えない場合もあるかもしれません。万が一のトラブルに備え、事前にログファイル等をバックアップしてからアップデートを行なうことをおすすめします。

万が一アップデートにより、システムが破損してしまった場合でも、当社では一切責任を負いかねますので、アップデートを実施する際は、バックアップをとった上で自己の責任において実施してください。

6. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.2

6 - 4. システムのアップデート (2/2)

✓ アップデートの開始

1. 管理メニューの「システム情報」を選択し、「アップデート」という項目のボタンをクリックします。
2. 「参照」ボタンをクリックし、CGI-Parkホームページより入手したアップデートファイル(拡張子が.cpmとなっているファイル)を選択し、「開く」ボタンを押してください。(図1)
3. ファイルを選択したら「確認」ボタンをクリックしてください。誤ったアップデートファイルを選択したら、エラーメッセージが表示されます。正しいファイルを選択しなおしてください。
正しいアップデートファイルを選択したら、アップデート内容の説明や、更新対象のファイル等の情報が確認できます。(図2)
4. アップデート情報を確認し、内容に問題がなければ「アップデート実行」ボタンを押してください。アップデートが実行され、システムの更新が開始されます。
5. アップデート処理が終了すると、アップデートの完了画面が表示されます。これでアップデート処理は正常に終了しました。



図1: アップデートファイルの選択



図2: アップデートファイルの確認

✓ アップデート履歴の確認

アップデートを行なった日時や処理内容が履歴として保存されます。「システム情報」ページの作業履歴の項目のボタンをクリックすると今まで行なったアップデート作業等が表示されます。

6. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.2

6 - 5. システムの再構築

✓ システムの再構築について

プログラムファイルやHTMLデザインファイル等が万が一破損して正しく処理が行えなくなってしまう場合、最後にアップデートを行ったときの状態にシステムを復元することが出来ます。

✓ 再構築を実行するうえでの注意事項

・本ソフトは、基本的には改造不可としていますが、もし、何らかの改造を加えた場合は、再構築を行なうことで、改造を施したファイルが元のファイルに上書きされ、元に戻ってしまう可能性があります。

・再構築処理は、設置しているサーバの環境により正しく行えない場合もあるかもしれません。万が一のトラブルに備え、事前にログファイル等をバックアップしてから再構築を行なうことをおすすめします。

万が一再構築により、システムが破損してしまった場合でも、当社では一切責任を負いかねますので、再構築を実施する際は、バックアップをとった上で自己の責任において実施してください。

✓ 再構築を実行する

1. 管理メニューの「システム情報」を選択し、システム再構築の項目のボタンをクリックしてください。
2. 再構築の確認画面が表示されます。(図1)
更新対象ファイルという項目で表示されているファイルが、再構築を実行するファイルの一覧です。もしこの中に更新したくないファイルが含まれている場合は、再構築は行わないでください。再構築を行なうことで、初期状態に戻ってしまいます。
3. 更新ファイルを確認し、再構築を行なってもよろしければ「再構築を実行」ボタンをクリックしてください。再構築の処理が開始されます。
4. 処理が完了すると、再構築の完了画面に切り替わります。これで、再構築処理が正常に終了しました。

システムの再構築を実施します。
よろしければ「再構築を実行」ボタンを押してください。

プログラム情報	
プログラム名	更新名人 Ver 1.0.0
最終更新日	2005.09.27
更新対象ファイル	/admin.cgi /pop3.cgi /cgi-data/s014/data/account.db /cgi-data/s014/data/conf.db /cgi-data/s014/data/contents.db /cgi-data/s014/data/index.htm /cgi-data/s014/data/login.db /cgi-data/s014/data/up_record.db /html/account.htm /html/admin.htm /html/conf.htm /html/folder.htm /html/log.htm /html/login.htm /html/main.htm /html/menu.htm /html/pop3.htm /lib/account.pl /lib/admin.pl /lib/cei-lib.pl /lib/cei-sub.pl /lib/conf.pl /lib/folder.pl /lib/jcode.pl /lib/log.pl /lib/login.pl /lib/menu.pl /lib/mimer.pl /lib/pop3.pl

上記対象ファイルをすべて再構築します。
もし上記のファイルを独自に修正している場合は、その修正内容はすべて失われてしまいます。その場合、再構築は実行しないでください。

再構築を行ってもログファイルには影響を及ぼすことはありませんが、再構築の途中で処理が止まってしまったり、ファイルのパーミッションが正しく設定されていないためにエラーになってしまったりと、処理が最後まで実行できず、システムを壊してしまう可能性があります。

万が一この作業によりシステムが破損し損害が発生するような事態に発展してもMilleniaNetは一切責任を負いかねますのでご了承ください。あくまでも、自己の責任において実施されますようよろしくお願いいたします。

再構築を実行

図1:再構築の確認画面